

「鉄道安全に関する日本国国土交通省とインド共和国鉄道省との間の 協力覚書」 骨子

(平成 29 年 2 月 17 日署名)

1. 背景

平成 28 年 12 月、度重なるインド国鉄の脱線事故を背景として、インド側より鉄道安全について日本の協力を要請。日本側より鉄道安全・保線の専門家を迅速に派遣し、インド側と協議を実施。その際、鉄道安全に係る覚書を作成し、協力を加速化することで一致。

2. 覚書骨子

【協力分野】

- 鉄道安全（レール溶接、検査、軌道回路等）
- 軌道の安全に係る最新技術（自動検査技術等）
- 車両の安全（メンテナンス等）
- その他、鉄道事故の原因分析に基づく事故防止のための事項

【協力の方法】

- 専門家の派遣
- コアスタッフの日本での研修
- 情報やベストプラクティスの共有
- （独）交通安全環境研究所やインド鉄道省研究設計標準機構（RDSO）等の関係機関の協力促進

【署名者】

日本側： 国土交通審議官 田端浩

インド側： 鉄道省次官 A. K. ミタル

(具体的な協力分野、進め方については、覚書署名後に協議。)